

第11回 全国ユース環境活動発表大会

受賞校のみなさん、おめでとうございます！



高校生が選ぶ特別賞

玉川学園高等部 サング研究部

サングの未来を救う一手に～環境変化に対応する新たなサング保全活動の提案～

サング研究部はサングが本来生息する南の地域（沖縄）で「環境変化に対応できず死滅してってしまうサング」に焦点をあてて移植活動を行ってきました。しかし、近年は東京湾でサング群生地が確認されています。そこで、「環境変化に対応できず死滅してしまうサング」に加え、東京湾などの北限域とよばれる地域に生息する「環境変化に対応するサング」に焦点をあてた新たな保全活動に挑戦しています。



先生が選ぶ特別賞

立命館慶祥高等学校 C-Rits 羽幌町 PR パートナー

北海道の人口100人の島・焼尻島の島おこし！

大自然に恵まれた一方で、焼尻島はさまざまな課題を抱えています。人口減少と少子高齢化、インフラ整備の遅れ。そしてなにより、人に「知られていない」ことです。私たちは焼尻島に人を呼び地域を活性化させるため、焼尻島にゆかりのあるメンバーを中心にPR活動を行ってきました。今後は焼尻島ツアーのビジネスを始め、経済的にも支えていくことが目標です。



協賛企業特別賞

奈良県立五條高等学校 ビジネス部

FUKU-FUKU LOOP ～服と福をつなぐ循環プロジェクト～

服の命を「捨てる」から「つなぐ」へ変える循環モデル「FUKU-FUKU LOOP」に取り組んでいます。思い出の服を新しい形に再生するリメイク事業 Re:MEMORY、不要な衣類を循環させるイベント Change Clothes、残った服を防災クッションへ再生する「見せない備蓄」の仕組みを構築しました。五條市ecoフェスを開催して約2千人が来場。衣類の価値や環境問題への気づきを広げました。



SDGs 活動特別賞

愛知県立新城有教館高等学校作手校舎 作手校舎農業クラブ生物保全プロジェクト班

生物補完計画～身近な生物を知る・守る・繋ぐ～

作手地域は「日本の重要湿地500」に選定されており、貴重な自然環境が残されています。しかし、条件付特定外来生物であるアメリカザリガニの繁殖により、その自然環境が変化してきています。私たちは作手地域の自然環境を守り、将来へと繋いでいくために生物調査や外来種駆除活動、保全啓発活動に取り組んでいます。作手地域の自然環境を地域と共に守る輪の形成を目指しています。



審査委員

<講評>

いま、持続可能な社会を世界中で実現するために、次の3点が重視されています。1つ目は、「ホールコミュニティ/ソサエティ・アプローチ」。地域丸ごと、社会丸ごとの取組という意味です。取組が、学校だけでなく、地域、そして社会全体に広がっていくということが、みなさんの活動でも実現しつつあります。

2つ目は、「トランスフォーメーション」。変革、変容を意味します。皆さんも活動によって自身や周囲が変わった経験があると思います。さらに社会を変えるために、制度や政策の面からも何をすべきか、ぜひ考えてみてください。

3つ目は、「環境正義」。環境問題の解決には公正な社会の実現が必要であることを意味します。その問題で被害を受けている人は誰か？その解決策を進めることで困る人はいないか？という視点が必要です。困る人がいるから解決策を取らないということではなく、解決に取り組む中で見つけた社会の歪みに対して

も同時に取り組むことが必要です。

皆さんの発表をととても楽しく聞かせてもらいました。これからのご活躍にも期待しています。



審査委員長

二ノ宮リム さち 立教大学 教授



審査委員

黒部 一隆
環境省
大臣官房総合政策課
環境教育推進室長



審査委員

飯塚 智
独立行政法人
環境再生保全機構
理事長



審査委員

山口 しのぶ
国連大学
サステイナビリティ
高等研究所所長



審査委員

新庄 秀規
読売新聞東京本社
教育ネットワーク
事務局長



審査委員

曲輪 正昭
協栄産業株式会社
本社 / 常務取締役

